

3月議会
一般質問

笹田トヨ子議員 保育所臨時職員の処遇改善等子育て中心に質問

3月議会一般質問は3月14日午前10時より始まります。私・笹田トヨ子は①臨時職員の問題について、②幼稚園について、③ 子ども・子育て新システムについて、④市民病院の院内保育所の業務委託について、⑤ 国民健康保険の改善について の5点について質問を予定しています。私の質問時間は午後2時頃から始まります。ご都合のつく方は傍聴に来て下さい。

大垣市議会議員 笹田トヨ子

増える臨時職員 官製ワーキングプアは許されない

①. 全国では行革に伴い正規職員の削減で臨時や非常勤の職員が増えているといわれます。大垣市の非正規職員の実態について、明らかにしてください。

②. 保育園等における臨時職員の待遇改善について 正規職員必要人数は181人となっていますが、そのうち33人は臨時職員が正規の仕事を担当しています。また、未満児クラスの大部分はフルタイムの臨時職員が担っています。臨時職員は6か月ごとの契約で行われ、5年以上の在籍者が4割弱も占めています。実態としては、恒常的な業務についているわけで、本来なら正規雇用にしなければならない存在です。

大垣市は臨時職員に対して社会人採用の道が開かれましたが、年齢制限のため対象から外れる人が出ています。クラス担任など正規職員の役割を担っている人は正規職員として雇用すべきではありませんか。

また、未満児保育に配置されている保育士の大部分が臨時職員であり、本来正規職員が理想であるリーダー的役割を担っている臨時職員は担任単価（初任給並み）の賃金を出すべきではないでしょうか。

北保育園、北幼稚園、かさぎ保育園 3園統合問題について

①. 「大垣市の『新しい幼稚園と保育園のあり方』について」という提言のもと、幼保一元化の将来計画が出されました。今までに5カ園の幼稚園ができ、23年度予算では北幼稚園の実施設計委託の予算が計上されています。その規模は定員300人の大規模園です。大規模の幼稚園化を進める前に幼保一元化将来計画について中間総括を行い、見直しをするべきではないでしょうか。幼稚園化について、現時点においてどのように評価されているのかお聞きします。

②. 北幼稚園は北保育園、北幼稚園、かさぎ保育園の3園が統合し、250人以上の大規模園になると予想されます。しかし、北保育園は0歳児からの保育を行い、かさぎ保育園は障害児保育の指定園となっており、それぞれ専門性を必要とする保育が求められ、職員数も相当数の規模になると予想されます。大規模園化して果たして期待される保育実践が可能か疑問を感じます。また、園児の送迎などで交通渋滞なども考えられ、どのように対応されるのでしょうか。

公的保育制度を後退させる「子育て新システム」に対する市の見解を

民主党政権が導入を検討している「子ども・子育て新システム」は、市場原理に基づいた保育サービス産業化を図るものです。直接契約・直接補助方式の導入など、介護保険制度をモデルにしたものです。現行の公的保育制度を大きく後退させ、子育て日本一を進めている大垣市にとっても、大きな影響を受けることになるかと予想されます。大垣市の見解を求めます。

市民病院院内保育所の業務委託、 看護師確保に繋がるか

看護師不足などの対応策として24時間の夜間保育を目玉に院内保育所の業務委託の方針が出されました。

1. 現状を明らかにして下さい。
2. 業者選考はどのように行われるのか。その基準は
3. 給食の問題・・・病院食から外注に変更？
4. はたして看護師確保の決め手になるのか

高すぎる国保料引き下げを

高すぎる国民健康保険料を払えず、資格証明書や短期保険証、保険証未交付の世帯が増えています。国保は中小業者、高齢者、非正規や無職の若者など、他の医療保険に入れない人が最後に入る医療保険です。国保は国民皆保険のセーフティーネットの役割をしており、社会保障の位置づけから、公費が投入されるべきです。しかし、国庫負担率は引き下げられ、国保値上げの最大の原因になっています。国に対して国庫負担率をもとの50%に引き上げるように要望するとともに、市民が高すぎる国保料で払えない状態にならないよう対策を求めます。